

## 平成22年度

# 決算の概要

平成22年度国東市の決算概要をお知らせします。

一般会計の歳入決算額は211億3,220万6千円で、前年度と比較して8億6,018万8千円、3・9%の減となっています。

一方、歳出決算額は、206億873万8千円で、前年度と比較して、6億5,744万7千円、3・1%の減となっています。

このように歳入・歳出規模が縮小した主な原因は、定額給付金事業及びケーブルテレビ施設整備事業の減がその主な原因です。

一方、これまでの積極的な歳入一般財源の確保と歳出一般財源の削減により、市の貯金である基金残高は、一般会計では年度末で約89億円となり、前年度対比約23億円の増、全会計では年度末で105億円となり、前年度対比約23億円の増となりました。

また、市の借金である市債残高は、一般会計では年度末で約252億円となり、前年度対比約12億円の減、全会計では年度末で約366億円となり、前年度対比約15億円の減となりました。

今後も健全な財政運営を保つていくためにも、市民の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

## 国東市基金残高の状況

(単位：千円)

	平成18年度末	住民一人当たり額	平成19年度末	住民一人当たり額	平成20年度末	住民一人当たり額	平成21年度末	住民一人当たり額	平成22年度末	住民一人当たり額
一般会計	3,491,093	102	4,228,529	124	5,474,986	163	6,575,913	199	8,964,379	277
市全体	5,514,153	161	6,079,529	179	7,187,006	214	8,193,368	247	10,572,613	326

※定額基金（国保高額療養費付基金等）は除いている

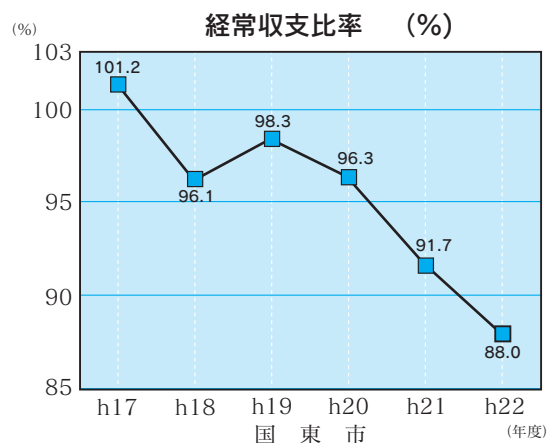
※工業用水及び市民病院特別会計は現金・預金・有価証券の合算額を基金とみなし計算している

## 国東市借入金残高の状況

(単位：千円)

	平成18年度末	住民一人当たり額	平成19年度末	住民一人当たり額	平成20年度末	住民一人当たり額	平成21年度末	住民一人当たり額	平成22年度末	住民一人当たり額
一般会計	30,138,194	880	28,857,559	850	27,395,453	817	26,452,999	799	25,222,518	779
市全体	43,921,782	1,282	41,991,442	1,236	39,850,763	1,188	38,204,446	1,154	36,696,253	1,133

## 財政構造の弾力性



経常収支比率は、地方公共団体の財政構造の弾力性を測定する指標として使用されるもので、人件費、公債費（借金の返済）などの経常経費の一般財源に市税、地方交付税などの経常的な収入の一般財源がどの程度充てられるかを示すもので、100%より比率が低いほど財政運営上では余裕があるということになります。

平成22年度の経常収支比率は、歳出（経常）が2億8,945万6千円の増となりましたが、歳入（経常）では、普通交付税が4億6,740万円の大増となったことに伴い、対昨年比で3.7ポイント改善され88.0%となりました。なお、歳出（経常）の中でとりわけ増加したものは扶助費（経常）（4億8,181万円の増）で、この大きな原因は子ども手当制度の開始によるものです。